



令和5年7月13日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第17号

## 中国新聞社「出前授業」を実施しました

～新聞記事の構成や読み方などを学習しました～

7月11日（火）、中国新聞社N I Eコーディネーター  
芳川 真理 様をゲストティーチャーとしてお招きし、  
全学年対象に「出前授業」を行いました。

本校はN I E教育（Newspaper in Education＝「エヌ・アイ・イー」と読みます）を推進しています。

N I E教育とは、若年層の文字離れ、読書嫌いの傾向に歯止めを掛け、児童生徒が活字文化に親しむ方法の一つとして、新聞記事を使って行う教育のことを言います。

今回の「出前授業」では、最初に新聞の一面のつくりについて説明がありました。新聞の一面は、新聞の名前である「題字」、トップ記事である「頭」、準トップの「肩」、次に重要な「へそ」と呼ばれる記事から構成されているなど、興味津々の内容から始まりました。また、新聞記事のタイトルは人々の関心を引くように考えられていることや、最初の文章であるリード文は「5W1H【When（いつ）・Where（どこで）・Who（だれが）・What（何を）・Why（なぜ）・How（どのように）】と「重要語句」を押さえて、伝えたい内容を簡潔に要約していることなどを学びました。

このような新聞の読み方を知っていると、楽に新聞記事を読むことができたり、更に新聞記事の書き方などに興味が湧いたりすると思います。そして、新聞記事をじっくり読む力（読解力）が身に付き、自分の思いや考えを分かりやすく伝える力（表現力）の向上につながります。何より「読むこと（読解力）」「書くこと（表現力）」は将来の人生を大変豊かにします。



この夏休みは、「みんなの新聞コンクール」に生徒の皆さんの作品を出品する予定です。今回の「出前授業」で学んだことを生かして、夏休みは作品の制作にしっかり取り組んでください。期待しています。



## ソーシャルスキルトレーニング ～アンガーマネジメント～

「ソーシャルスキルトレーニング（SST）」とは、社会で人と人に関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける訓練のことを言います。本校では「ソーシャルスキルトレーニング」を昨年の10月から計画的に実施しています。

「ソーシャルスキル」によって、次のような力に身に付きます。

- ①自分の感情や他人との関係について、客観的に考えることができる。
- ②自分の感情を、上手にセルフコントロールすることができる。
- ③自分自身を大切にできる力が身に付くとともに、他人を大切にすることができる。

7月11日（火）には、全校生徒対象に本校のスクールカウンセラー 山路 博文 先生による「第1回ソーシャルスキルトレーニング ～アンガーマネジメント（怒りをコントロールする力）について～」(年3回予定)を行いました。

日頃の不安や不満など（一次感情）がたまってあふれると怒りになりますので、一次感情を減らすために「心の救急箱」を用意することなどが大切だそうです。

「心の救急箱」には、「散歩する」「寝る」「歌う」「音楽を聴く」「美味しい物を食べる」などの薬が用意されることが良いそうです。今回のまとめとして、人は怒ってばかりいると人生がマイナスに作用したり、人に向けた怒りは相手だけでなく自分も傷つけたりすることにつながっていきます。ポジティブな気持ち（人をほめる、リラックス）を増やすことによって日々の生活を高めて、自分の未来や希望を後押ししてほしいとお話しされました。とても大変興味深い内容ばかりでした。山路先生は、原則毎週火曜日に本校に勤務されカウンセリングをいただいていますので、ご希望があれば中学校へご連絡ください。

